

☆日本の農業・林業・漁業とその変化 Part1(教 P158～159)

SS組 ∞ 番 氏名: チリ大先輩

◎本日の問い

なぜ日本の食料自給率が低下しているのか。

1. 日本の農業の特徴

Q. 7地方区分に分けた時次の農業が盛んな地域が多い地方を2つずつあげよう。(地 P158)

○稲作: 東北地方 と 中部地方

○畜産: 北海道地方 と 九州地方

○野菜: 関東地方 と 中部地方

※日本の農業形態

○新鮮な状態で出荷する工夫

(① **近郊農業**) : 都市の消費者向けに、都市に近い場所で行われる。

○出荷時期をずらして高値で売る工夫

(② **促成栽培**) : 温暖な気候でほかの地域より早めに出荷 (九州・高知など)

(③ **抑制栽培**) : 冷涼な気候でほかの地域より遅めに出荷 (長野)

Q. 様々な資料を参考にして、日本の食料自給率が低下する理由を書き出そう。

1) 資 P128 A2,A3	・ 農家の数が減り、 耕作放棄地 の面積が 増えているから。
2) 資 P129 C1,C3	・ 国産品より 輸入品の方が安い ため、自国で 食べるよりも 輸出して輸入 した方が良いから
3) 資 P129C2	・ 日本人が 米を食べる割合が減っている 。 ・ 自給率の高い米ではなく、 逆の低い食品 を 食べている。
4) 資 P83 B6~8	・ 農家さんの 1人当たりの収穫量が少なく 、 かつ 面積も少ない (アメリカとの比較)

